

事業評価書

補 助 事 業 名	小学校机・椅子更新事業						
補 助 事 業 者 名	うるま市長						
実 施 場 所	うるま市地内						
補助事業の成果の目標	うるま市では、児童生徒用机・椅子の老朽化が進んでおり、特に小学校において老朽化が目立っている。 本事業は、市内全小学校を対象に、小学校2年生・5年生の机・椅子更新をすることにより、児童の学習意欲の向上を目的とする。 なお、更新対象となった学年で比較的新しい机・椅子は、他学年の老朽化したものと交換をして活用する。						
補 助 事 業 の 内 容		R3	R4	R5	R6	R7	合計
	児童用机	570台	570台	551台	570台	589台	2,850台
	児童用椅子	570脚	570脚	551脚	570脚	589脚	2,850脚
補助事業の始期及び終期	令和3年～令和7年度						
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
	事業費	円 6,380,000	円 7,022,400	円 12,788,710	円 13,480,500	円 15,841,155	円 55,512,765
	交付金額	6,380,000	7,022,000	11,981,000	11,330,000	12,787,000	49,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 机・椅子更新事業後の変化について各学校へアンケート調査を実施したところ、以下の回答が得られたことから、本事業の成果を得られたと評価する。 ・机・椅子が統一されて、集中して授業に取り組める環境になった。 ・机の天板も広いため、教科書やノートを落としにくくなった。 ・椅子がグラグラせず固定されることにより正しい姿勢で授業に取り組めるようになった。 【地域住民への周知の実施状況】 1) 市ホームページ令和7年10月掲載 2) 広報誌令和7年12月号に掲載予定 3) 「特定防衛施設周辺整備調整交付金」と記載したシールを添付済						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した学校運営のため、整備した机・椅子を適切に管理していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						